

川上村と人間環境大学

協働連携協定

5月27日(土)、川上村役場にて、「奈良県川上村と人間環境大学との協働連携に関する協定」にかかる協定書調印式が行われました。

人間環境大学は、愛知県岡崎市に本部を置く私立大学であり、「命」「心」「環境」の3つのテーマを教育理念としています。また、牧山助友学長が川上村のご出身ということもあり、



泉谷村議会議長 栗山村長 牧山学長

①座学による事前学習：村の取り組みや課題の説明を行い、川上村を知ります。

②川上村でのフィールドワークを実施：川上村に実際に来て、自然や実際のモノ・ヒトと出会い、村民との交流を通じながら川上村を学びます。

昨年、学生らが村を訪れ、フィールドワークなどの体験型実習を行いました。このようなご縁もあり、この度の協定締結へと至りました。

この協定は、川上村と人間環境大学のそれぞれの持つ資源を有効に活用し、環境保全や地域活性化等のさまざまな分野で相互に連携・協力し、自然環境と伝統産業を活かした地域社会の形成と発展、人材育成、教育・学術研究の向上に寄与することを目的としています。

具体的な内容として、学生は川上村をフィールドとしての体験型学習だけでなく課題解決型学習の実施を想定しています。村の解決すべき課題を提示し、その解決策を検討・提案します。



吉野杉製の協定書に調印をおこなう栗山村長と牧山学長

③解決策の提案を実施：持続可能な地域社会形成につながる解決策の提案を行います。

当日、川上村から栗山村長が、人間環境大学から牧山学長がそれぞれ調印を行い、立会人として泉谷隆夫村議会議長が署名を行いました。牧山学長は、「川上村と言えば吉野林業。SDG Sの観点から、現在の林業を維持・推進するとともに、川上村と人間環境大学が持続性を持った形で取り組んでいきたい。」と話されました。

なお、学生が実際に川上村を訪れてのフィールドワークは今年8月から始まります。

～主な連携・協力事項～

- (1) 自然及び水環境の保全に関する事
- (2) 移住及び観光の促進に関する事
- (3) 事業及び産業振興のためのDX（デジタル変革）に関する事
- (4) 物流のスマート化に関する事
- (5) そのほか、人材育成、教育・学術研究活動を含め、双方が必要と認める事項